

# LMI Technologies がフィンランドの光学計測会社、 FocalSpec を買収

*FocalSpec が設計・製造する特許取得済みのライン共焦点テクノロジーにより、  
画期的な検査用 2D/3D スキャン機能を実現*

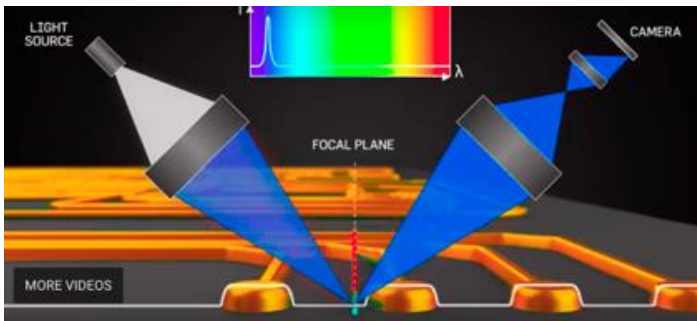
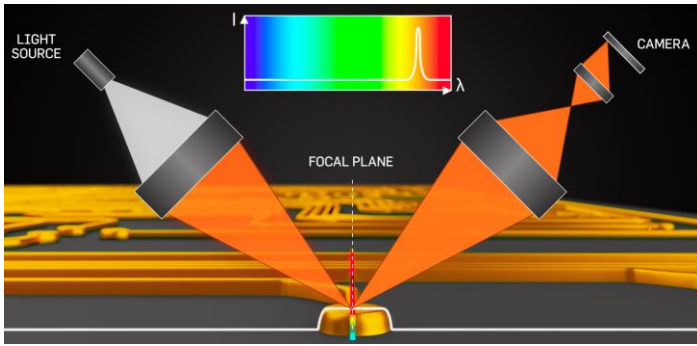
2019年11月1日ブリティッシュコロンビア州バンクーバー - 3D インラインスキャンング・検査で世界をリードする [LMI Technologies \(LMI\)](#) は、[FocalSpec](#) の買収を発表します。同社は、フィンランドを拠点とし、特許取得のライン共焦点イメージング (LCI) 製品の設計・製造を行う光学計測会社です。LMI の親会社、[TKH グループ](#) が [FocalSpec](#) の株を 100% 取得します。同社は LMI グループに統合され、LCI 製品は引き続き [FocalSpec](#) 製品ブランドで販売される予定です。

[FocalSpec LCI](#) センサーは、軸外に取り付けた横方向クロマティック共焦点スキャンングを搭載した同社独自の光学メソッドを利用し、毎秒最大 27M データポイントのサンプリング速度と 70nm の測定再現性で、3D トポグラフィー (表面のジオメトリ)、2D 強度 (表面のコントラスト)、3D トモグラフィー (透明表面の下のマルチレイヤーのスキャン) を同時に記録します。このレベルのスピード、精度、マルチモーダル、マルチレイヤーのイメージング機能を兼ね備えたビジョンソリューションは、他に存在しません。

[FocalSpec](#) の買収により、特許取得済みの共焦点テクノロジーを導入でき、[LMI Technologies](#) のレーザープロファイラスマートセンサーと構造化されたライトスナップショットをさらに拡大することができます。当社のスキャン/検査ソリューションは、家電 (CE)、バッテリー、製薬、半導体、医療などのさまざまな市場における困難なアプリケーションの解決において業界をリードします。



LCI 1220 共焦点センサー



軸外のライン共焦点設計は、白色光源、オブジェクトのハイポイントとローポイント（それぞれ上部と下部）からカメラの特定のピクセルへの「オレンジ」と「青」の波長の反射を示します。

「ライン共焦点センサーは、スキャン性能を飛躍的に進化させる技術で、携帯電話製造で使われるハイブリッドガラスアセンブリなど、半透明材料、透明材料、曲線の材料のスキャンを可能にします。この画期的な光学的アプローチに、当社が誇る実績ある **Gocator** 検査ソフトウェアと量産製造ノウハウを組み合わせることで、これまで実現できなかったコストパフォーマンスと使いやすさで、インライン計測アプリケーションの課題を解決することができるはず」と、LMI Technologies、CEO の Terry Arden は語ります。

FocalSpec の会長、Sauli Törmälä は以下のように述べています：「LMI Technologies の 3D 製品ポートフォリオに LCI テクノロジーを加えることで、アセンブリプロセスにおいて欠かせない計測アプリケーションのための補完ソリューションが完成します。業界トップの検査ソフトウェアを備え、FocalSpec と LMI は、今後数年で計測業界をけん引する中心的存在になるはず。お互いに協力できるのを楽しみにしています」

FocalSpec LCI 製品については、[www.focalspec.com](http://www.focalspec.com) をご覧ください。その他の情報については、LMI グループへの FocalSpec の統合が完了した時点で、LMI ウェブサイト ([www.lmi3d.com](http://www.lmi3d.com)) でお知らせいたします。

## LMI Technologies について

LMI Technologies は、スマートセンサーテクノロジーで 3D 測定を前進させるように業務を行っています。受賞歴を誇る当社の **FactorySmart®** センサーは、スマート 3D テクノロジーを利用した高速かつ高精度、信頼性の高い検査を行い、工場生産ラインの質と効率性を向上しています。接触式測定、つまり 2D ビジョンとは異なり、当社の非接触式ソリューションは、100% の品質管理の実現に欠かせない 3D 形状情報を追加します。

LMI の検査ソリューションがお客様のビジネスにメリットをもたらす方法を確認するには、メール ([contact@lmi3d.com](mailto:contact@lmi3d.com)) でご連絡いただくか、ウェブサイト ([www.lmi3d.com](http://www.lmi3d.com)) に掲載するスマート 3D テクノロジーの可能性についてご覧ください。